

看護師志望の高校生が職場体験

茨城県看護協会主催の高校生を対象とした「1日看護体験」が7月28日、城西病院で行われました。体験には、県西地域の高校に通う1年から3年の生徒8人が参加。コロナ禍で4年ぶりの開催となり、参加した生徒たちは初めての病院での体験に、真剣に取り組んでいました。

体験は、午前中に手術室や総合健診センター、救急処置室、病棟などを見学しました。手術室では、手術台に乗って患者になった気分を味わったり、手術で使う精密機器を実際に使ってみるなど、ふだん経験できない体験をしました。

引き続き、外科病棟と回復期リハビリテーション病棟に分かれ、先輩たちに連れられて、看護師の仕事の一部を体験しました。患者さんと会話したり、食事を配膳したり、リクレーションに参加したり、病室の清掃を行ったりと、短い時間の中でいろんな体験をしました。8人は、4年制の看護大学や看護専門学校への進学を目指しているといい、「患者さんと会話するのが難しかった」「看護師になるためにどんな勉強をしたらいいですか」と先輩看護師に次々に質問をしていました。

2023年7月29日



©Tasseido group

